

統計データから分かる！ 新型コロナウイルス感染症の影響

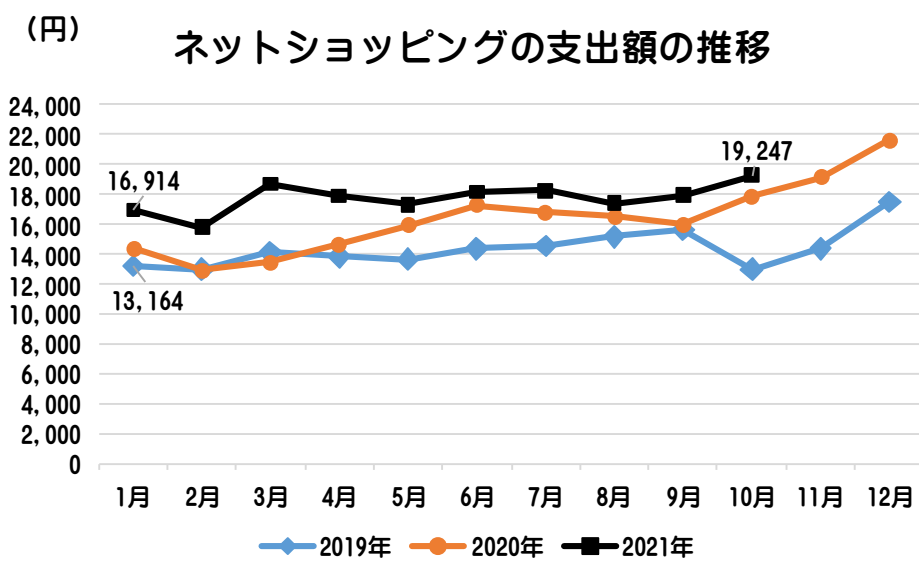
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、生活のあらゆる面に影響が及んでいます。毎日の報道ニュースでも、いろいろな調査結果の表やグラフを見る機会が増えたのではないのでしょうか。

今回のコラムでは、皆さんにとって身近な「家計」と「観光」に関する統計データを紹介し、新型コロナウイルス感染症の流行がもたらした変化を見ていきたいと思います。

《 ネットショッピングの普及 》

総務省が行っている「家計消費状況調査」によると、ネットショッピングの支出額（1世帯当たり1か月間のネットショッピングの支出総額）は、ほぼ毎年増加を続けています。2019年1月の13,164円から2021年1月は16,914円となっており、最新の結果公表によると10月は19,247円です。

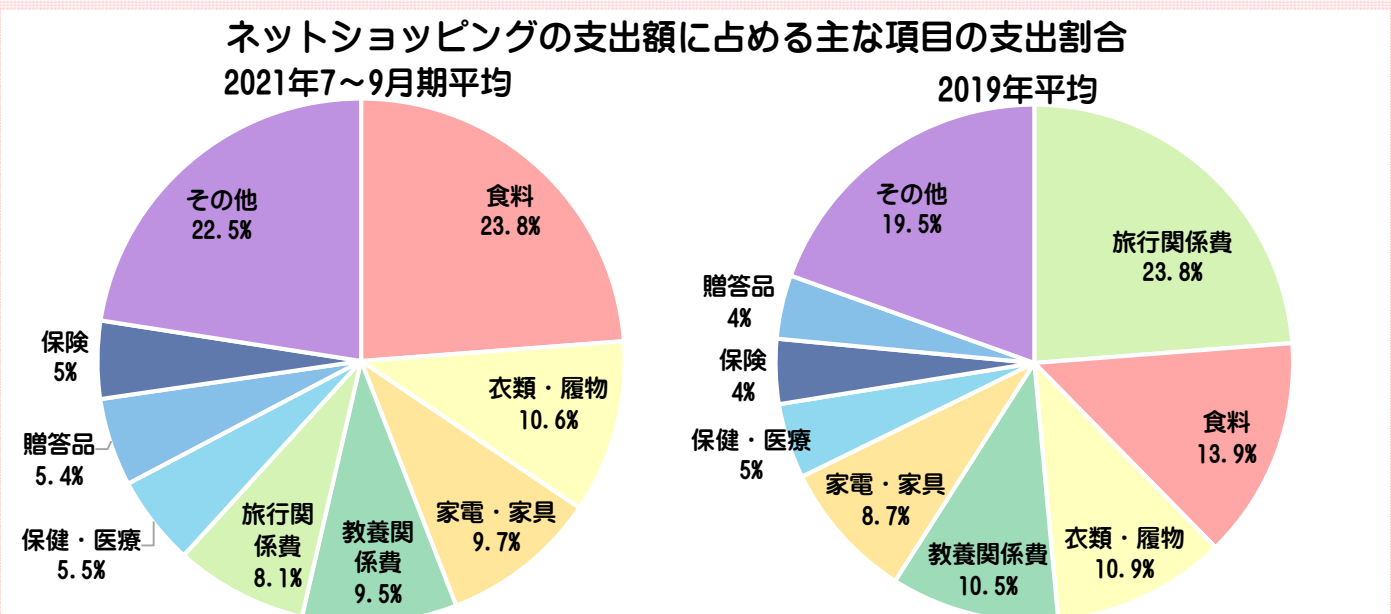
緊急事態宣言や外出自粛要請により、ネットショッピングの需要が高まっていることが分かりますね。



家計消費状況調査は、ICT関連の消費やインターネットを利用した購入状況などを捉えるため、抽出された世帯を対象に毎月行われています。

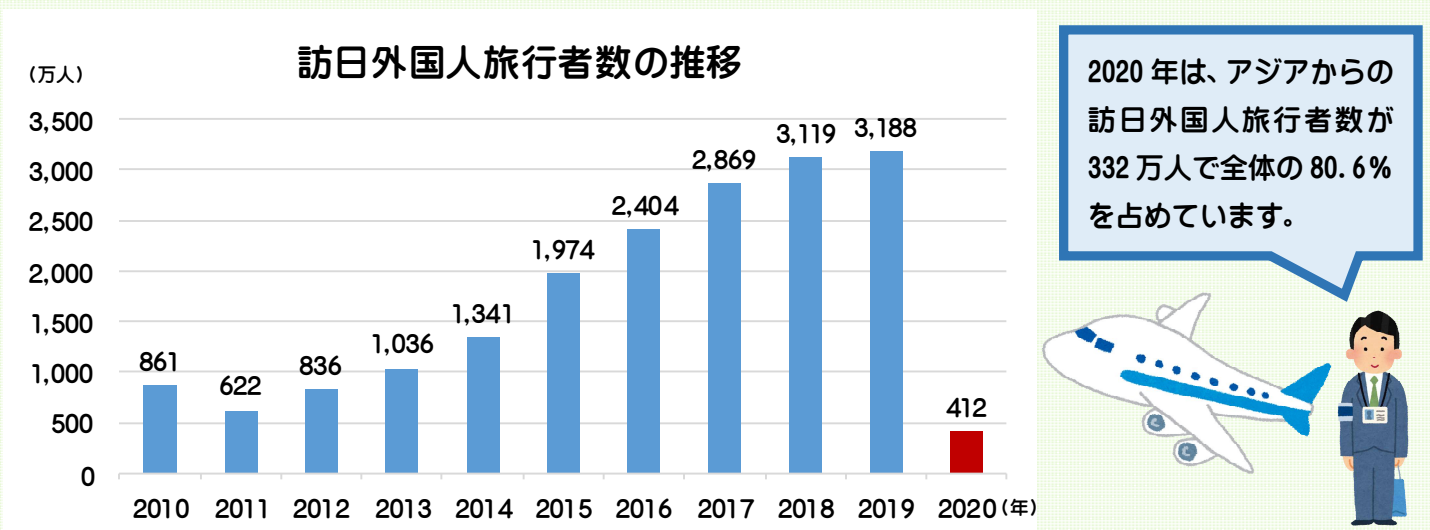


さらに具体的な支出の内訳を見てみると、2019年平均で最も多かったのは「旅行関係費」の23.8%でしたが、2021年7～9月期平均では8.1%と大幅に減りました。代わりに「食料」が23.8%、次に「衣類・履物」、「家電・家具」と続き、より日常生活に必要なものをインターネットで購入するようになったと言えます。



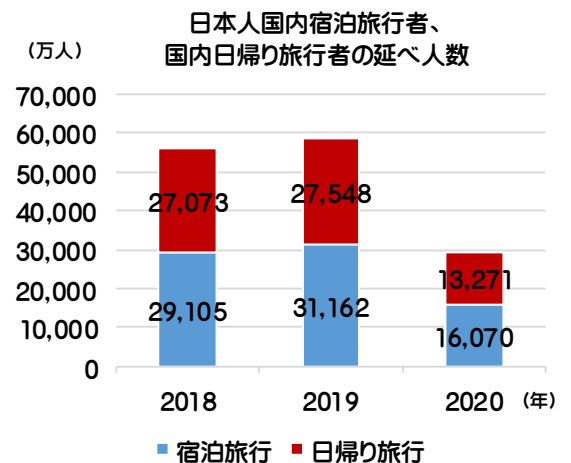
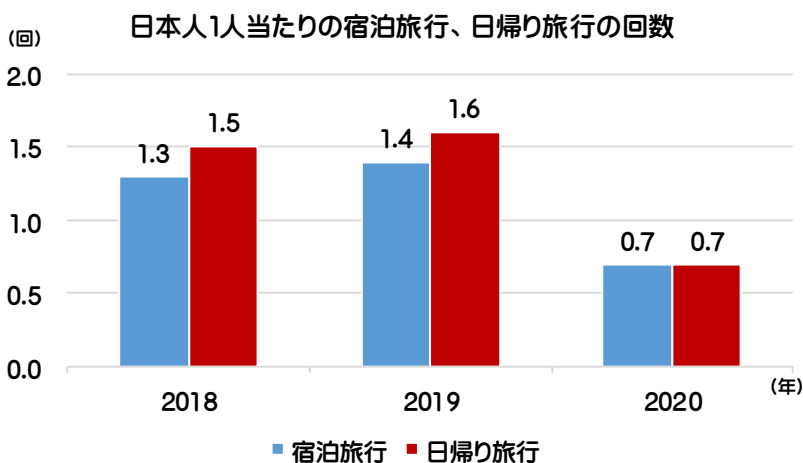
《 観光への影響 》

2019年までの訪日外国人旅行者数は7年連続で過去最高を更新していました。しかし、新型コロナウイルス感染症が流行した2020年は、各国・地域において水際対策が強化された影響等により、2月以降大きく減少し、前年比87.1%減の412万人でした。



続いて、日本人の国内旅行の状況を見てみます。2020年の日本人1人当たりの国内宿泊旅行回数及び日帰り旅行回数は共に0.7回と前年から大きく減少しています。

また、2020年の日本人の国内宿泊旅行者数は延べ1億6,070万人、国内日帰り旅行者数は延べ1億3,271万人で、こちらも大きく減少しています。



2020年はGoToトラベル等の旅行需要回復のための政策も行われましたが、やはり、旅行をする人は少なかったことが一目瞭然ですね。

今回のコラムでは、「家計」と「観光」に関する統計データをご紹介しましたが、新型コロナウイルス感染症がもたらした変化を読み取ることができる統計データは、他にもたくさんあります。グラフを見るとその変化が分かりやすいので、気になった方は調べてみてください。

出典：総務省統計局 HP 「家計消費状況調査の概要」「家計消費状況調査 2021年（令和3年）10月分結果」
「家計消費状況調査通信 2020年10月発行」

国土交通省観光庁 HP 「令和2年度観光の状況及び令和3年度観光施策（観光白書）について」